

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

令和2年10月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	千本	千本						
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.8 (97%)	700 (100%)	550 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	気温の低下によりボリューム等の品質は向上している。また、産地によっては炭酸ガス施用にも積極的に取り組んでいる。目立った病害虫の発生はなく、出荷量は平年並を見込む。
ストック	千葉県	施設		11~4月 (2~3月)	40.0 (100%)	94 (100%)	57 (100%)	10	30	60	館山市(神戸、西 岬)、南房総市(白 浜、千倉、丸山、 和田)、鴨川市	・令和元年房総半島台風による被害を受けたハウスの再建が進んだ結果、おおむね例年並みの出荷に戻る見込み。 ・白、ピンク、マリン色が中心である。西岬地区からはアイアンシリーズ、神戸地区からはカルテットシリーズが出荷される見込み。

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

令和2年10月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	西南暖地の品質が向上しており、購入意欲も高冷地から西南暖地への切り替わりの時期になっている。例年と比べるとまだ下位等級が多めで9月曇天が多かったため、入荷量は少なめとなった。ブライダル需要はおおよそ例年の3割程度(大田)。前半は高冷地メインの販売で徐々に暖地に移行。愛知や栃木など数量まとまってくる(FAJ)。夏場の暑さで、全体的に丈が短く頭が小さいものが多い。6割程度のブライダル等で動きはあり、赤系の動きは良かったが、全体的には厳しい(第一花き)。前半は夏の暑さと天候の影響で出荷もなかなか増えず。ブライダル・小売りとも動きは鈍い(世田谷花き)。各産地、曇天による低日照の影響で出荷量の大きなピークは無くただら出荷が続いている(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	国内産地はやや端境期になる見込み。輸入品のケニア産、エクアドル産、エチオピア産は例年通りの動きだが、インド産はほぼ入荷無い見込み。ブライダルも例年の3~4割となることが予想される。
		FAJ	愛知や茨城、栃木などが主力産地に。宴会需要は若干。小売り主体の販売続く。
		第一花き	全国的に周年栽培となり、暖地物・高冷地物といった差がない。ブライダル系品種は弱い可能性あり。
		世田谷花き	産地が入れ替わり、入荷量も落ち着く見込み。単価も保合。
東日本板橋花き	中間地から暖地メインの入荷に徐々に移行してくる。(栃木、静岡、愛知)全体量は横這いの見込み。		
アルストロメリア	現状	国産が品薄なこともあり、業務需要中心に引き合い強い状況。中でも白・ピンクが業務需要で引き合いあり。輸入では、コロンビア産の入荷が増え、量販店向けに販売。気温の低下と共に専門店から上位等級の引き合いも強まる(大田)。長野・山形などから入荷。葬儀主体で安定した相場での取引続く。数量は平年並み(FAJ)。高冷地および暖地物が出始めている、北海道などは早めに出荷が止まるが、少し少ない感じである。動きは良い(第一花き)。出荷量微増も例年より少ない。業務中心に動くが、徐々に小売りも動き出す(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年より少ない出荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	遅れていた長野・愛知の数量が増加してくる見込み。白・ピンク中心に増加し、新品種等も増えていく予定。引き続き業務需要中心だが、他品目の減少もあり専門店・量販店からの問い合わせも増えていく。
		FAJ	11月も長野・山形からの入荷が中心。品質上がり葬儀以外にも小売店での動きで始める。
		第一花き	暖地物も徐々に増加してくる、品種・品質も落ち着いてくるであろう。
		世田谷花き	引き続き長野県産増える。引き合い落ち着く。
東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年より少ない出荷量の予想。		
ストック	現状	生育が10日から2週間ほど遅れている状況。出始め商材のため、品質を気にする顧客も多いが、他の品目含め出回り量が少ないことから引き合いは強い(大田)。福島県より入荷開始。昨年よりややゆっくりとしたペースでのスタート(FAJ)。生育が遅れている。下旬に山形から出荷始まる(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	季節感ある商材として動きが出てくる。この先の天候次第で、10月の出遅れている分と11月出荷予定分が重なり、数量多くなる可能性あり。その場合は価格が低迷する時期がある。
		FAJ	山形などより入荷始まり徐々にロットのまとまった状態に。数量は昨年同程度からやや少ない予想。
世田谷花き	山形・福島県からの入荷。中旬に向け、各色増えてくる模様。需要は葬儀の回復次第。		